

どうしてなのでしょう、増える障害者への虐待

「2019年度、全国の障害者に対する虐待件数は2737件」と厚労省が発表しています。(2021年3月26日朝日新聞デジタル版)。これを被害者数で見ると3169人。その内2人が亡くなっており、相談・通報は9110件で過去最多ということです。但し、記事では障害者別の内訳は分かりません。

当会は総合支援法に基づいた障害者の通所施設(就労継続支援B型事業所)を運営しています。障害者福祉事業に携わっている立場として、これは驚きの数字として受け止めました。

内容を見ると、虐待のうち家族等の擁護者によるもの1655件(60.5%)、障害者施設職員等によるもの547件(20%)、職場関係者によるもの535件(19.5%)となっています。また、家族等の場合は、①身体的虐待63.9%、②心理的虐待63.9%③経済的虐待20.7%の順に多く、職員等の場合は、①身体的虐待52.7%、②心理的虐待40%、③性的虐待13.2%となっています。

今の日本でこんなことがあるのでしょうか。擁護者、職員等にはそれぞれに辛い事情、悩み、問題等が必ずあると思いますし、具体的な事例になると様々なことが複雑に絡み合っているケースも多いでしょう。だからと言って、障害者への虐待が許されるはずはありません。虐待にかかる当事者はもとより、行政、地域社会、各種団体等の積極的な対策への早急な取り組みが求められます。次年度から国も各事業所に「虐待防止委員会」を設置する方針と聞いております。

以前、関西のある人権団体の研修で、「臭いものに蓋をしてはいけない。何故ならば、事実をきちんと受け止めることが問題の解決につながる道だからです」という説明に感銘したことがあります。社会の課題・問題に目をつぶらず、みんなで知恵を出し合い解決していく仕組み作り—この視点が必要とされていると思います。

(赤池千明)



理事会の報告 —令和3年6月から8月—

理事会報告にあたって、まず新型コロナウイルス感染についてふれなければなりません。こんな状況が1年以上続いています。何時になったら2年前に戻れるのでしょうか。マスクのない日常風景が早く来ることを願うばかりです。以下、6月から8月までの理事会の報告です。

6月6日の総会で令和2年度事業報告・決算報告及び令和3年度事業計画・予算を承認していただきましたので、6月から本格的に新しい年度の活動がスタートしております。また、B型事業所の改修事業も8月に無事終了いたしました。

家族会活動は「家族による家族相談センター」として相談機能の充実、家族ピア学習会を毎月開催し家族間の連携を深め、広報活動の継続により精神保健福祉の理解促進を図る活動に注力いたします。一方、B型事業所の利用者数及び作業状況は安定しているためにコロナ禍対応には手指消毒、マスク着用、検温、ワクチン接種等を実施しています。前年度からの課題である工賃向上、就労への実績、ピア活用への施行、地域交流等々については継続した取り組みが求められています。

最後に、令和4年度は明生会設立50周年に当たります。これを機に精神保健福祉の向上に向けての具体的な方向を再確認する必要があると思います。(赤池千明)

6月～8月までの活動報告

6月9日(水)広報誌「つながり36号」発行。

6月13日(日)第3回理事会。つばめ創社食堂にて。参加者理事8名。

6月21日(月)県連拡大相談員研修会。静岡市シズウエルにて。参加者、家族相談員3名。

6月22日(火)浜松市内精神保健福祉関係家族会等代表者連絡会。参加者、担当者2名。

6月27日(火)第3回家族ピア学習会。つばめ創社食堂にて。参加者9名。

7月11日(日)第4回理事会。つばめ創社食堂にて。参加者、理事10名。

7月25日(日)第4回家族ピア学習会。武道館会議室にて。参加者13名。

7月27日(火)統合失調症家族教室(浜松会場、第1回)浜松市精神保健福祉センターにて。
参加者、担当者4名。

8月3日(火)相談員研修。武道館会議室にて。参加者7名。

8月22日(日)第5回理事会。武道館会議室にて。参加者、理事8名。

8月31日(火)統合失調症家族教室。(浜松会場、第2回)新型コロナウイルスの感染防止対策のため中止。

本の紹介



「14歳からの精神医学」 —心の病気ってなんだろう—

宮田雄吾著 日本評論社

中学生向きに書かれた精神医学書ですが友人や親が発病したらどうしたらよいのかなど対応の仕方なども記載されていて一読の価値あります。

(図書館で借りる事をおすすめします。)

転院したいのに出来ない

—何故?—



ある日一本の電話が鳴った。

「私は病気で何回も入院したが、今は一ヶ月に一度通院し服薬も忘れずにしている。前々から主治医とは相性が良くないと感じていたが、先日はあまりに高圧的な医師の態度に心身が震え、もう二度とこの病院に来たくない、転院したいと思った。どのように手続きすればいいのか？」との相談であった。

「まずは相談窓口を設けている病院に相談して受診したい旨を伝えてみてはいかが」と返事をした。早速そのようにしてみたが、先方からの返事は「現在通院中の主治医の紹介状が必要。それがないと予約出来ない。」と体よく断られたとの事であった。「けれど今の私には怖くて、とても主治医に転院したいと申し出る勇気がない。困った！悲しい！」と涙を流された。

精神の病気の治療には、発症の経緯や薬の履歴がとても大切で重要であることは理解している。そして具合が悪くなった時には、先ず医師に助けを求められる信頼関係が何より必要だと思っている。その医師との信頼関係が失われ新たな道を探すべき時に“紹介状”が大きな壁になっている事を見過ごしてはならないと思う。ドクターショッピングを軽々しく勧めるつもりはないが、安心できない場に身を置くことは治療において良くないことだろう。転院することが、清水の舞台から飛び降りる程の覚悟が必要だなんて、何か変ではないだろうか？再度連絡を取り「薬が十分ある今のうちに、兎に角勇気を出して強い気持ちで、転院したい希望を医師に伝えて紹介状を貰って下さい。」と返事をしたが、勇気や覚悟を当事者に課するのは気の毒すぎるなど自分自身にモヤモヤとしている。

その後、相談者からは「紹介状をもらい転院出来た」と報告がありほっとした。(鈴木陽子)

公認心理師の晴耕雨読



最近、原田誠一先生の「精神療法の工夫と楽しみ」という本の中に「妄想との上手な付き合い方」というものがありました。当事者の方の妄想体験世界を3つの面に分け、①当事者の方は「嫌がらせを受けている」など苦悩や恐怖、憤を体験している(陰性感情)、一方で妄想世界の中で自分は特別な存在になっているという誇大感もある。②そして、妄想内容を確認しつつあるが、他方で妄想体験の妥当性を検討している面もある(モニタリング)。さらに、その妄想に対して「無視する」「我慢する」などの対処をしている面もある。③そして、行動的な反応として妄想対象に攻撃する場合と「周囲の人に相談する」「家に閉じこもる」などの穏やかな反応行動とがある。

妄想と上手に付き合っている当事者は、A) ①の陰性感情が強くなく、②モニタリングが柔軟で有効な対処法を持ち、③粗暴な行動を自制し、対人サポートをうまく利用している。B) それに加え、日常生活の中で本人の資質を生かす場や大切な人間関係がある、楽しみやくつろげる場がある、経済的な安定がある、との事。

家族としては陰性感情を受け止めたり、反応行動を理解することなどがサポートにつながるのではないのでしょうか？
(高柳弘行)

今後の活動予定

9月12日(日)第6回理事会。武道館会議室にて。13:00～15:30。

9月26日(日)第5回家族ピア学習会。あいホール 303号室にて。13:00～15:00。

参加費 300 円。駐車料金100円。

9月28日(火)統合失調症家族教室(浜松会場)浜松市精神保健福祉センターにて。

13:00～15:00。参加者、担当者。

10月 7日(木)みんなねっと全国大会(東京)web オンラインで。

10月 8日(金) //

10月10日(日)第7回理事会。つばめ創社食堂にて。13:00～15:30。

10月24日(日)第6回家族ピア学習会。(※)にて。13:00～15:00。参加費 300 円。

10月26日(火)統合失調症家族教室(浜松会場)浜松市精神保健福祉センターにて。

13:00～15:00。参加者、担当者。

11月 4日(木)甲州東海ブロック大会(静岡)延期。

11月 5日(金) //

11月14日(日)第8回理事会。つばめ創社食堂にて。13:00～15:30。

11月28日(日)第7回家族ピア学習会。(※)にて。13:00～15:00。参加費300円。

12月12日(日)第9回理事会。つばめ創社食堂にて。13:00～15:30。

12月19日(日)第8回家族ピア学習会。(※)にて。13:00～15:00。参加費300円。

尚、新型コロナウイルス感染拡大の折りには予定が変更又は中止となる場合があります。ご了承下さい。

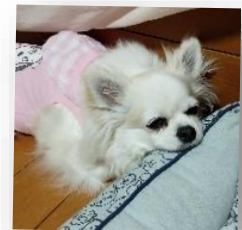
※家族ピア学習会の会場は明生会事務所か武道館会議室にて。希望する方は電話してください。学習会ではなくても事務所には誰か居りますので気軽に来てほしいと思います。日頃思っている事、こうしたいけどどうだろうと思っている事などお話しませんか？



うちの保護犬の話

家には10歳のチワワがいます。「モコ」という名前の女の子です。保護団体に保護されている犬が保護犬です。5歳で引き取りました。犬を飼うのは初めてで心配しましたがだんだん慣れてきて今では統合失調症の長女も「モコちゃんは元気？」と必ず聞いてきます。動物を飼うなんて余計な世話が増えるしお金もかかるし、と思っている方も多いと思いますがそれ以上に癒されています。父親とも犬を介して話をするようになりよい関係になりました。犬を飼ってみたいと思っている方は保護犬もどうかと思ってけると嬉しいです。

(鈴木智子)



編集後記

コロナウィルスでまだまだ大変ですが、工夫して少しでも癒される時間を持つようにしていきたいですね。早く平穏な日常が戻ることを祈ります。

(鈴木智子)